



DATE

2019年9月20日 Fri
15:30 ~ 17:00

PLACE

本庄キャンパス
菱の実会館
1階 多目的室

15:30
理工学

化学部門 准教授 森貞真太郎

オンデマンド消泡を可能とする温度応答型界面活性ナノゲルの開発
ある種の高分子微粒子は界面活性を示すため、エマルションや泡の安定化に寄与する。本研究では、ナノサイズの感温性高分子ゲル微粒子（ナノゲル）を用いることで温度応答性を有する泡安定化剤の開発を試みた。

16:00
農学

生物資源科学科 助教 堀谷正樹

南極好冷細菌由来酵素はいかにして低温環境に適応しているか
～ 電子スピン共鳴法で“観る”動的構造解析～

地球上で多くみられる極地には、その環境に適応した生物が生存しています。これまで産業への応用面から好熱菌などの研究は進んでいますが、好冷細菌についての研究はあまり進んでいません。講演ではタンパク質の詳細構造解析から最近明らかにした低温適応酵素の持つ分子メカニズムの一例を紹介します。

16:30
医学

人工関節学講座 准教授 河野俊介

抗菌性人工股関節の開発

産学連携プロジェクトによる世界初のセメントレス抗菌人工股関節市販化にむけて

CONTACT

総合分析実験センター・研究基盤共用促進チーム

TEL : 0952-28-8896 Mail : synergy@ml.cc.saga-u.ac.jp

本セミナーは総合分析実験センターのFD・SDセミナーとしても扱われます

